

4. 産業振興施設

(1) 概要

産業振興施設は市内に36施設あり、そのうち26施設は、合併により旧町村から引き継いだ施設です。特に、大岡地区には、11の施設があります。これらの施設は、合併前の旧町村により、定住促進、農村振興、観光、雇用施策など、地域の活性化を担う重要な施設として位置づけられ、国の補助等を活用して整備されてきたものです。

施設を形態で見ると、畜産振興施設、市民農園、中山間地域の農地を活用し新規就農希望者の受け入れを目的とした滞在型菜園、農水産物の加工や特産品の開発を行う加工所、道の駅などの特産品販売施設、農村環境の改善を目的とした地域交流施設があります。

そのうち、道の駅である大岡特産センター、信州新町地場産業振興市場、中条地域特産物販売施設の3施設は、年間を通して多くの方に利用されています。

この他にも、各種職業訓練や技術取得のための長野地域職業訓練センター、新たな成長産業の創出などを目的とした、ものづくり支援センターがあります。

長野地域職業訓練センターは、2011年(平成23年)3月末に雇用・能力開発機構(現在は廃止)から譲渡されたものです。

ものづくり支援センター(UFONagano)は、2005年(平成17年)に整備し地域企業の新技術・新製品の開発、ベンチャー企業の育成支援などを行っています。

産業振興施設一覧

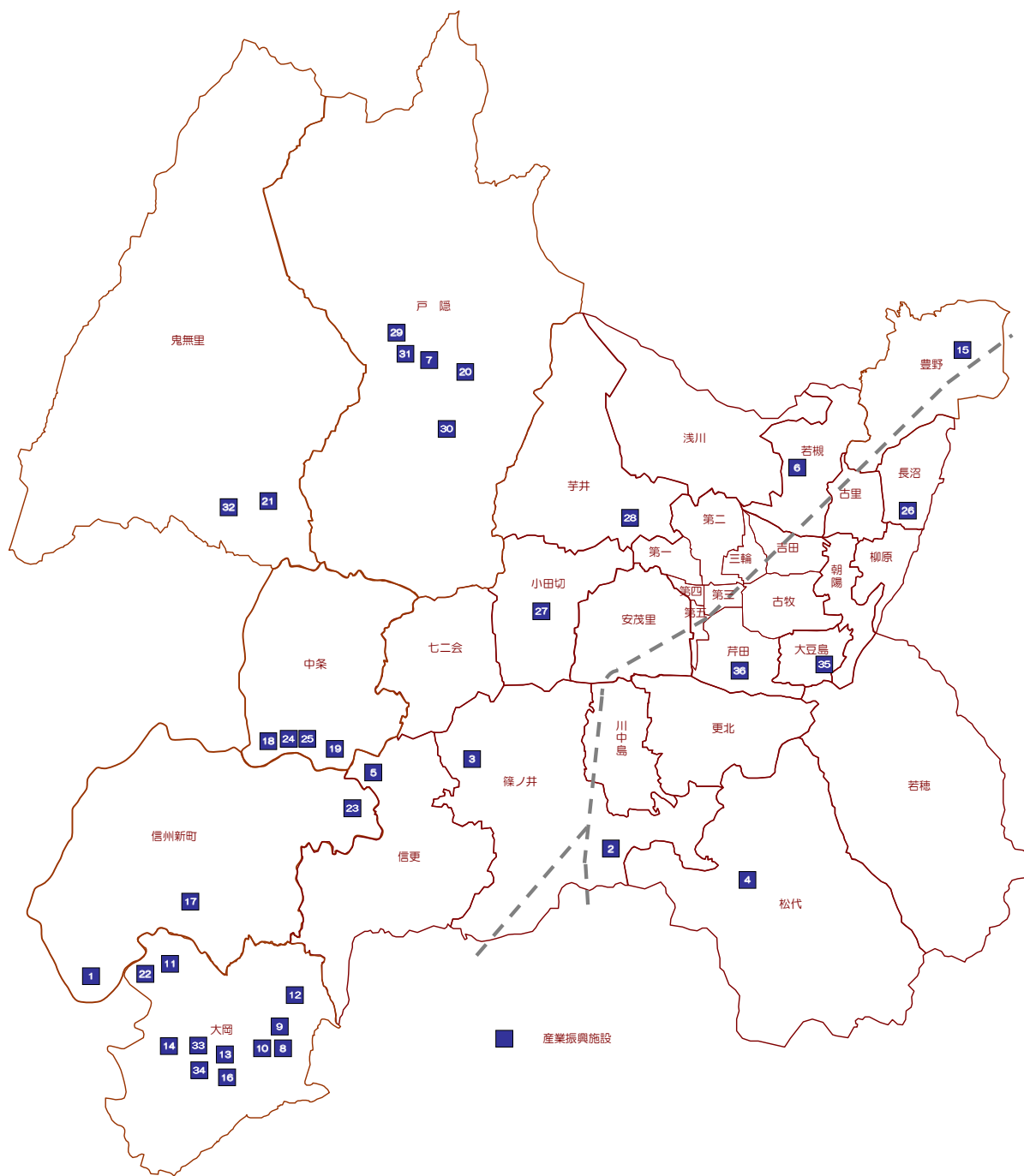
No	施設名称	所在地	単複	運営	建築年	建物延床面積(m ²)	階層	主たる構造	施設形態
1	信州新町めん羊繁殖センター	信州新町	単独	指定	1997年1月	935	1	S造	畜産振興
2	サラダパーク小森	篠ノ井	単独	指定	1997年3月	31	1	W造	市民農園
3	サラダパーク青池	篠ノ井	単独	指定	1994年3月	35	1	W造	市民農園
4	サラダパーク松代東条	松代	単独	指定	1996年3月	37	1	W造	市民農園
5	サラダパーク安庭	信更	単独	指定	1993年3月	36	1	W造	市民農園
6	サラダパーク蚊里田	若槻	単独	指定	1994年3月	47	1	W造	市民農園
7	戸隠体験市民農園	戸隠	単独	指定	1997年3月	37	1	W造	市民農園
8	大岡中ノ在家クラインガルテン	大岡	単独	直営	1997年3月	371	1	W造	市民農園
9	大岡体験農園施設	大岡	単独	直営	2006年2月	129	1	W造	滞在型菜園
10	中ノ在家菜園滞在施設	大岡	単独	直営	1996年12月	704	2	W造	滞在型菜園
11	川口菜園滞在施設	大岡	単独	直営	2000年3月	583	2	W造	滞在型菜園
12	桜清水菜園滞在施設	大岡	単独	直営	2001年2月	489	2	W造	滞在型菜園
13	椋内菜園滞在施設	大岡	単独	直営	2002年3月	495	2	W造	滞在型菜園
14	芦沼北菜園滞在施設	大岡	単独	直営	2003年9月	2,108	2	W造	滞在型菜園

第5章 施設分類別の現状と課題

4. 産業振興施設

No	施設名称	所在地	単複	運営	建築年	建物延床面積(m ²)	階層	主たる構造	施設形態
15	豊野町農産物加工所	豊野	単独	直営	1995年4月	100	2	S造	加工所
16	大岡農水産物処理加工施設	大岡	単独	指定	1988年2月	112	1	W造	加工所
17	信州新町農産物加工施設	信州新町	単独	指定	1992年3月	39	1	W造	加工所
18	中条特産品開発センター	中条	単独	直営	1993年3月	235	1	W造	加工所
19	中条農産物加工実習室	中条	複合	直営	1986年7月	58	1	SRC造	加工所
20	戸隠そば博物館	戸隠	複合	指定	1992年3月	1,185	2	W造	特産品販売
21	鬼無里ふるさと体験館等	鬼無里	複合	指定	1988年3月	1,034	1	W造	特産品販売
22	大岡特産センター	大岡	単独	指定	1990年3月	490	2	W造	特産品販売
23	信州新町地場産業振興市場	信州新町	複合	指定	1988年4月	852	1	W造	特産品販売
24	中条地域特産物販売施設	中条	複合	指定	1995年4月	1,047	2	W造	特産品販売
25	中条農林産物直売施設	中条	単独	指定	1994年11月	122	1	W造	特産品販売
26	農民館	長沼	単独	直営	1988年11月	303	1	W造	地域交流
27	小田切農村環境改善センター	小田切	単独	直営	1979年12月	688	2	S造	地域交流
28	芋井農村環境改善センター	芋井	複合	直営	1978年1月	537	2	S造	地域交流
29	戸隠基幹集落センター	戸隠	単独	直営	1978年12月	599	1	S造	地域交流
30	戸隠農村環境改善センター	戸隠	複合	直営	1995年3月	1,000	3	RC造	地域交流
31	戸隠交流促進施設	戸隠	複合	指定	1996年3月	596	2	W造	地域交流
32	鬼無里活性化センター	鬼無里	複合	直営	2000年3月	910	3	RC造	地域交流
33	大岡活性化センター	大岡	単独	直営	1996年3月	192	1	W造	地域交流
34	大岡基幹集落センター	大岡	複合	直営	1990年4月	571	2	RC造	地域交流
35	長野地域職業訓練センター	大豆島	単独	直営	1986年11月	1,480	2	RC造	その他
36	ものづくり支援センター	芹田	単独	直営	2005年3月	1,977	5	SRC造	その他
	合計					20,162			

産業振興施設の配置状況



※図表の番号は、産業振興施設一覧表の番号と対応しています。

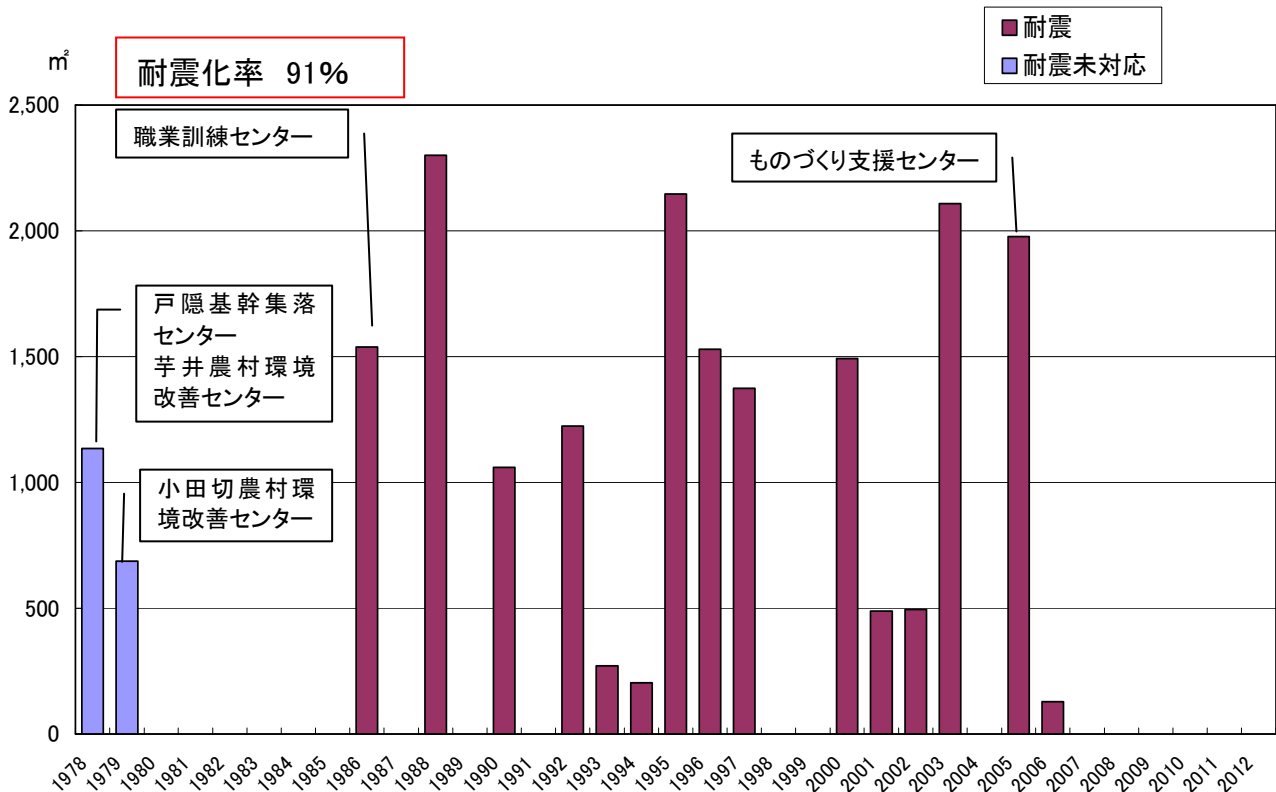
第5章 施設分類別の現状と課題

4. 産業振興施設

(2) 建物の状況

建設年別の延床面積のグラフを見ると、築30年以上経過している建物は、戸隠基幹集落センター、芋井農村環境改善センター、小田切農村環境改善センターの3施設で、耐震未対応となっています。

産業振興施設の建設年別延床面積



(3) 施設の利用状況

① 産業振興施設の利用者数の推移

加工所、特産品販売施設、地域交流施設、その他の施設の平成 24 年度の利用者数は約 93 万人です。その中でも、物産品販売施設の利用者数は約 86 万人で、全体の約9割を占めています。

なお、区画数や棟数などから利用者が限定される畜産振興施設、市民農園、滞在型菜園の利用者数は除いています。

産業振興施設の利用者数の推移

施設名称	年間利用者数(人)			
	21年度	22年度	23年度	24年度
加工所 (5施設)	3,154	3,040	2,839	2,888
特産品販売施設 (6施設)	581,397	824,351	850,129	858,571
地域交流施設 (9施設)	49,381	47,581	46,309	45,659
その他の施設 (2施設)	32,276	26,920	26,684	25,582
合計	666,208	901,892	925,961	932,700

②施設形態別の利用状況

【畜産振興施設】

信州新町めん羊繁殖センターは、信州新町のめん羊農家5戸から預託された羊を飼養し、毎年、子羊の生産を行っています。

めん羊は、信州新町地区において歴史のある地場産業で、市も地域ブランド化の実現に向け、飼養農家の増加、サフォーク肉の生産拡大に取り組み、観光や産業など地域の活性化を目指した取り組みを行っています。

※サフォークは、羊の中で唯一肉専用の種です。

施設名称	年間利用者数(戸)			
	21年度	22年度	23年度	24年度
信州新町めん羊繁殖センター	6	6	6	5

第5章 施設分類別の現状と課題

4. 産業振興施設

【市民農園】

市民農園 365 区画の利用者は 328 人です。7施設の全体利用率は約 90%と高くなっていますが、サラダパーク青池の利用率は約 65%と低く、今後、利用率を高める取り組みが必要です。

市民菜園の利用率

施設名	区画数	利用者数(人)	利用率
サラダパーク小森	27	27	100%
サラダパーク青池	34	22	65%
サラダパーク松代東条	30	29	97%
サラダパーク安庭	47	39	83%
サラダパーク蚊里田	80	80	100%
戸隠体験市民農園	123	108	88%
大岡中ノ在家クラインガルテン	24	23	96%
合計	365	328	90%

※大岡中ノ在家クラインガルテンは、ラウベ（滞在施設）を 12 施設備えています。



大岡中ノ在家クラインガルテ



サラダパーク青池



サラダパーク蚊里田

【滞在型菜園】

新規就農希望者等を受け入れ、定住者の増加を目的とする滞在型施設は、全て大岡地区にあります。

滞在型菜園 43 棟のうち 31 棟に入居があり、入居率は約 7 割となっていますが、入居率の低い椛内、芦沼北菜園滞在施設は、現在、入居者の増加を図るため、平成 26 年度に向け、利用条件の緩和などについて検討を行っています。

滞在型菜園の入居率

施設名	棟数	入居者数 (世帯数)	入居率
中ノ在家菜園滞在施設	7	7	100%
川口菜園滞在施設	6	6	100%
桜清水菜園滞在施設	5	5	100%
椛内菜園滞在施設	5	2	40%
芦沼北菜園滞在施設	20	11	55%
合 計	43	31	72%

※大岡体験農園施設は、芦沼北菜園滞在施設の入居者の研修会場等のため除いています。

【加工所】

農水産物の加工、特産品の開発、農林業の振興と食生活の向上を目的とした加工所の利用者数は約 2,900 人です。主な利用者は、地域住民や団体に味噌加工などに使用しています。

加工所の利用者

施設名称	年間利用者数(人)			
	21年度	22年度	23年度	24年度
豊野町農産物加工所	1,237	1,168	1,022	895
大岡農水産物処理加工施設	377	310	335	405
信州新町農産物加工施設	184	132	143	153
中条農産物加工実習室	904	955	846	989
中条特産品開発センター	452	475	493	446
合 計	3,154	3,040	2,839	2,888

第5章 施設分類別の現状と課題

4. 産業振興施設

【特産品販売施設】

道の駅などの特産品販売施設の利用者数は約 86 万人です。特に、大岡特産センター、信州新町地場産業振興市場、中条地域特産物販売施設の道の駅3施設は、年間約 68 万人の利用者がいます。また、戸隠そば博物館は、4 月から 11 月までの営業期間ですが、約 2 万人の利用者がいます。

なお、中条の道の駅に隣接する中条農林産物直売施設は、指定管理者側から施設譲り受けの意向を受けて、現在、課題などについて検討を行っています。

特産品販売施設の利用者

施設名称	年間利用者数(人)			
	21年度	22年度	23年度	24年度
戸隠そば博物館	24,721	24,791	26,788	21,583
鬼無里ふるさと体験館等	85,057	76,301	74,392	65,564
大岡特産センター(道の駅)	205,307	193,429	186,847	188,826
信州新町地場産業振興市場(道の駅)	—	288,165	312,497	326,861
中条地域特産物販売施設(道の駅)	172,708	150,363	160,917	166,787
中条農林産物直売施設	93,604	91,302	88,688	88,950
合計	581,397	824,351	850,129	858,571

※信州新町地場産業振興市場の平成 21 年度の利用者は、把握できないため除いています。



大岡特産センター



信州新町地場産業振興市場



中条地域特産物販売施設

【地域交流施設】

農村環境の改善を目的とした地域交流施設の利用者数は約 4.6 万人です。主な利用者は、地域住民ですが、戸隠交流促進施設(そばの里 二番館)については、郷土料理の提供や農産物・地場産品の販売も併せて行っており、約 2 万人の利用者がいます。また、鬼無里活性化センターは支所と併設されており、約 1.4 万人の利用者がいます。

なお、戸隠基幹集落センターは、平成 21 年度は戸隠神社式年祭などの利用がありましたが、その後は利用者が少ないことから、地元への譲渡や施設廃止などについて、今後、地権者や地元住民自治協議会などと協議を行い、方針を決定していく予定です。

地域交流施設の利用者

施設名称	年間利用者数(人)			
	21年度	22年度	23年度	24年度
農民館	3,178	3,032	3,105	2,974
小田切農村環境改善センター	633	888	1,449	613
戸隠基幹集落センター	914	105	219	139
戸隠農村環境改善センター	4,273	4,583	3,676	3,446
戸隠交流促進施設	22,556	24,875	21,561	21,385
鬼無里活性化センター	12,694	11,091	13,442	14,191
大岡活性化センター	144	43	115	64
大岡基幹集落センター	4,989	2,964	2,742	2,847
合計	49,381	47,581	46,309	45,659

※芋井農村環境改善センターの利用者は、把握できないため除いています。

【その他施設】

長野地域職業訓練センターは、長野地域の労働者等を対象とした各種職業訓練や技能習得を行っています。利用者数は約 22 万人です。

ものづくり支援センターは、信州大学工学部の敷地内にあり、研究者などと連携しながら研究・試作等ができ、会議や商談スペースを利用して、専門家等による起業化に向けた技術・経営面の指導などの総合的なサービスを提供しています。なお、平成 22 年度以降は、同じ敷地内に、信州科学技術総合振興センターが開設されたため、利用者数は減少傾向です。

その他の施設の利用者

施設名称	年間利用者数(人)			
	21年度	22年度	23年度	24年度
長野地域職業訓練センター	26,063	23,230	22,820	22,418
ものづくり支援センター	6,213	3,690	3,864	3,164
合計	32,276	26,920	26,684	25,582

※ものづくり支援センターの利用者数は、交流室等の利用者です。

第5章 施設分類別の現状と課題

4. 産業振興施設

(4)コストの状況

①概要

産業振興施設全体の光熱水費や建物管理委託料などの施設維持管理費は約 1.8 億円で、施設の事業運営費は約 3.8 億円となっています。

また、建物の減価償却費を含めたトータルコストは、約 6.5 億円となっています。物産品販売施設の、大岡物産センター、信州新町地場産業振興市場、中条地域特産物販売施設の3施設の年間トータルコストは、約 3.5 億円で全体の約5割を占めます。

産業振興施設のコスト

(金額単位：千円)

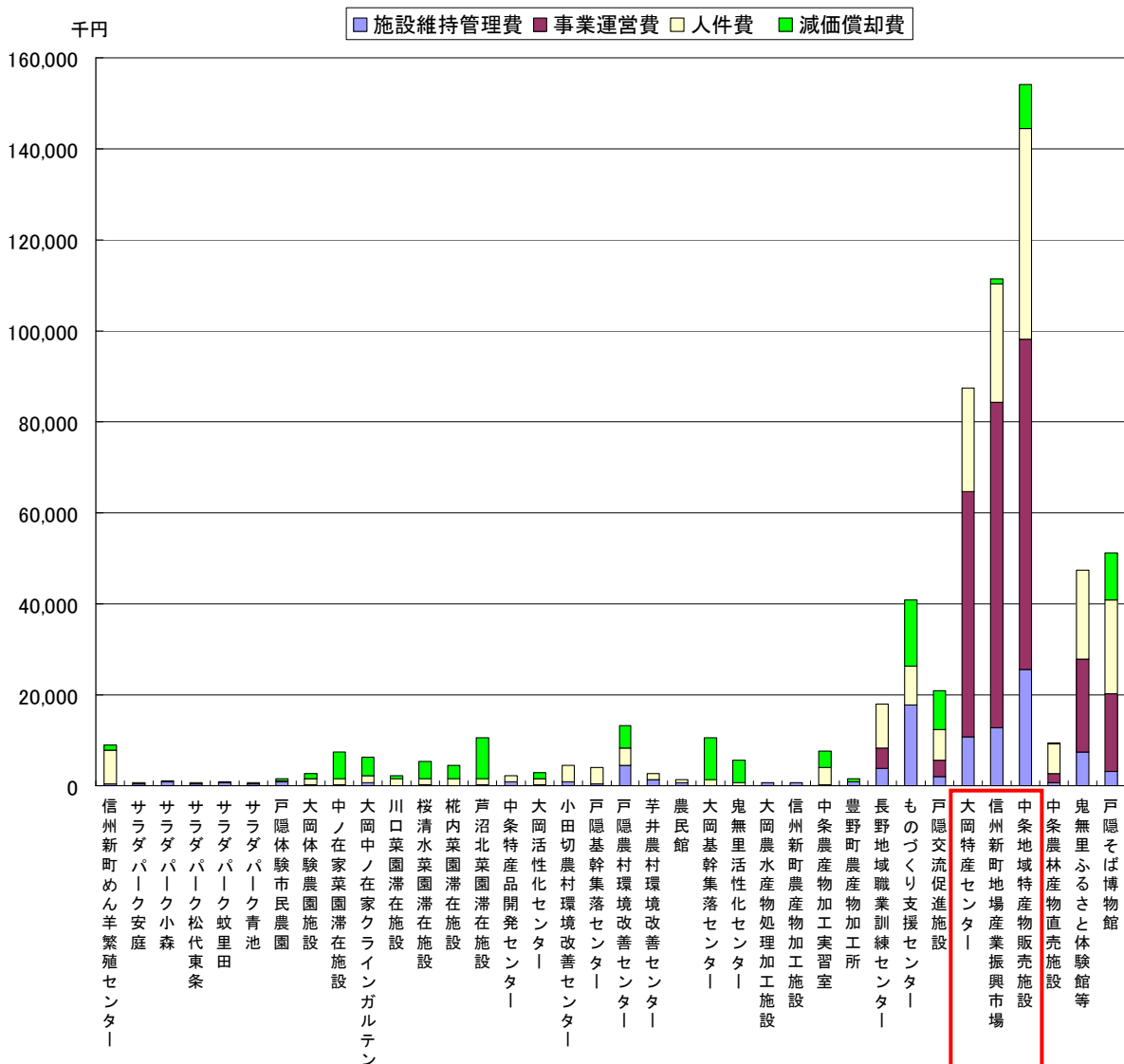
I 現金収支を伴うもの		施設名	産業振興施設
		施設数	36
【コストの部】		延床面積	20,162
施設維持管理費	修繕費		5,012
	工事請負費		6,219
	光熱水費		50,446
	建物管理委託料		18,241
	人件費(概算)		73,806
	その他の経費		21,437
	施設維持管理費 計		175,161
事業運営費	人件費(概算)		133,615
	業務委託料		0
	その他物件費等		245,615
	事業運営費 計		379,230
現金収支を伴うコスト計 ①			554,391
【収益の部】			
利用料金等	市		40,356
	指定管理者		427,646
収益計 ②			468,003
II 現金収支を伴わないもの			
【コストの部】			
減価償却費 ③			98,034
III 総括			
トータルコスト(①+③) ④			652,425
収支差額(④-②)			184,422

※指定管理者の利用料金等のうち、道の駅3施設の合計で約3.2億円の収入があります。

②施設別のトータルコストの状況

産業振興施設のトータルコストの合計は、約 6.5 億円となっています。コストの最も高い施設は、中条地域特産物販売施設で約 1.5 億円、次に、信州新町地場産業振興市場が約 1.1 億円、大岡特産センターが約 0.8 億円と道の駅 3 施設となっています。

産業振興施設のトータルコスト



※道の駅3施設

第5章 施設分類別の現状と課題

4. 産業振興施設

③利用者1人当りのコスト

【畜産振興施設】

信州新町めん羊繁殖センターの利用者は、信州新町のめん羊飼養農家5戸と少ないため、農家1戸当たりのコストは約182万円／戸となっています。

畜産振興施設の1人当たりのコスト

施設名	トータルコスト(千円)	利用者(戸)	1戸当たりのコスト(円／戸)
信州新町めん羊繁殖センター	9,099	5	1,819,800



信州新町めん羊繁殖センター

【市民農園】

市民農園の1人当たりのコストをみると、大岡中ノ在家クラインガルテンは約28万円／人と最も高くなっていますが、これは建物の減価償却費の影響によるものです。

市民農園の1人当たりのコスト

施設名	トータルコスト(千円)	利用者数(人)	1人当たりのコスト(円／人)
サラダパーク小森	1,090	27	40,370
サラダパーク青池	666	22	30,270
サラダパーク松代東条	605	29	20,860
サラダパーク安庭	720	39	18,460
サラダパーク蚊里田	983	80	12,290
戸隠体験市民農園	1,642	108	15,200
大岡中ノ在家クラインガルテン	6,357	23	276,390

【滞在型菜園】

滞在型菜園の1世帯当たりのコストをみると、椛内菜園滞在施設が約 220 万円／世帯と最も高くなっていますが、これは5世帯枠に対し2世帯の利用に止まっているためです。また、中ノ在家・桜清水・芦沼北の菜園滞在施設のコストは、建物の減価償却費が影響しています。

滞在型菜園の1人当たりのコスト

施設名	トータルコスト(千円)	利用世帯数	1世帯当たりのコスト(円／世帯)
中ノ在家菜園滞在施設	7,410	7	1,058,570
川口菜園滞在施設	2,258	6	376,330
桜清水菜園滞在施設	5,441	5	1,088,200
椛内菜園滞在施設	4,408	2	2,204,000
芦沼北菜園滞在施設	10,530	11	957,270

※大岡体験農園施設は、芦沼北菜園滞在施設入居者の研修会場等のため除いています。



中ノ在家菜園滞在施設



川口菜園滞在施設

【加工所】

加工所の1人当たりのコストをみると、中条農産物加工実習室が約 8,000 円／人と高くなっていますが、これは建物の減価償却費の影響によるものです。

なお、大岡農水産物処理加工施設は、建物や施設内の備品の老朽化が進んでいることなどから、今後の利用計画と費用対効果を検証しながら施設のあり方について、検討を行っています。

加工所の1人当たりのコスト

施設名	トータルコスト(千円)	利用者数(人)	1人当たりのコスト(円／人)
豊野町農産物加工所	1,008	895	1,130
大岡農水産物処理加工施設	741	405	1,830
信州新町農産物加工施設	696	153	4,550
中条農産物加工実習室	7,538	989	7,620
中条特産品開発センター	2,359	446	5,290

第5章 施設分類別の現状と課題

4. 産業振興施設

【特産品販売施設】

特産品販売施設の1人当たりのコストをみると、戸隠そば博物館が約 2,400 円/人と最も高くなっていますが、これは4月から 11 月の期間営業のため利用者数が少ないことによるものです。

また、大岡特産センター、信州新町地場産業振興市場、中条地域特産物販売施設の道の駅3施設の1人当たりのコストをみると、施設規模に比例してトータルコストは大きくなっていますが、利用者数が多いため、1人当たりのコストは 1,000 円以下となっています。

物産品販売施設の1人当たりのコスト

施設名	トータルコスト(千円)	利用者数(人)	1人当たりのコスト (円/人)
戸隠そば博物館	51,201	21,583	2,370
鬼無里ふるさと体験館等	47,348	65,564	720
大岡特産センター (道の駅)	87,373	188,826	460
信州新町地場産業振興市場(道の駅)	111,397	326,861	340
中条地域特産物販売施設 (道の駅)	154,100	166,787	920
中条農林産物直売施設	9,508	88,950	100

【地域交流施設】

地域交流施設の1人当たりのコストをみると、大岡活性化センターが約 4.5 万円/人と最も高く、戸隠基幹集落センターが約 2.9 万円/人となっていますが、これは利用者数が少ないことによるものです。

地域交流施設の1人当たりのコスト

施設名	トータルコスト(千円)	利用者数(人)	1人当たりのコスト(円/人)
農民館	1,317	2,974	440
小田切農村環境改善センター	4,450	613	7,260
戸隠基幹集落センター	4,002	139	28,790
戸隠農村環境改善センター	13,187	3,446	3,830
戸隠交流促進施設	20,962	21,385	980
鬼無里活性化センター	5,545	14,191	390
大岡活性化センター	2,861	64	44,700
大岡基幹集落センター	10,564	2,847	3,710

※芋井農村環境改善センターは、利用者が把握でいないため除いています。

【その他の施設】

長野地域職業訓練センターの1人当たりのコストは、約800円/人となっています。なお、建物は、平成23年3月末に取得していますが、建物の減価償却費はありません。

また、ものづくり支援センターの1人当たりのコストは約6,630円/人となっていますが、これは建物の減価償却費が影響しています。

その他の施設の1人当たりのコスト

施設名	トータルコスト(千円)	利用者数(人)	1人当たりのコスト(円/人)
長野地域職業訓練センター	17,973	22,418	800
ものづくり支援センター	20,962	3,164	6,630

(5)まとめ

産業振興施設は市内に36施設あり、そのうち26施設は、合併により旧町村から引き継いだ施設です。特に、大岡地区には、11の施設があります。これらの施設は、合併前の旧町村により、定住促進、農村振興、観光、雇用施策など、地域の活性化を担う重要な施設として位置づけられ、国の補助等を活用して整備されてきたものです。

施設を形態でみると、畜産振興施設、市民農園、中山間地域の農地を活用し新規就農希望者の受け入れを目的とした滞在型菜園、農水産物の加工や特産品の開発を行う加工所、道の駅などの特産品販売施設、農村環境の改善を目的とした地域交流施設があります。そのうち道の駅である大岡特産センター、信州新町地場産業振興市場、中条地域特産物販売施設の3施設は、年間を通して多くの方に利用されています。この他にも、各種職業訓練や技術取得のための職業訓練センター、新たな成長産業の創出などを目的とした、ものづくり支援センターがあります。

建物は、1978年(昭和53年)建設の芋井農村環境改善センター、戸隠基幹集落センター、1979年(昭和54年)の小田切農村環境改善センターが、築30年以上経過しています。

利用状況は、区画数などから利用者が限られ、利用者数の変動が少ない畜産振興施設、市民農園、滞在型菜園を除いた、平成24年度の利用者数は約93万人となっています。その中でも、物産販売施設の利用者は約86万人で、産業振興施設全体の利用者の9割を占めています。

新規就農、定住者の増加を図るための滞在型菜園の柵内・芦沼北滞在施設は、入居率が低迷していることから、平成26年度に向け、利用条件の緩和を検討しています。

なお、中条農林産物直売施設は、現在の指定管理者側から施設譲り受けの意向が示されています。また、大岡農水産物処理加工施設、戸隠基幹集落センターは、老朽化や利用の減少などから、施設のあり方について検討を行っています。

今後、人口減少や少子高齢化が進む中で、市域全体のバランスや地域特性、各施設の施策推進上の位置づけなどを考慮しながら、適正な配置や規模、効率的な施設運営などについて、検討していく必要があります。